



みどりの森くろつち学園小郡市立立石中学校 令和8年6月26日

立石中学校だより 校長 野中文明 第6号

【学教育目標】郷土を愛し、自分で考え、自ら行動する子どもの育成

【重点目標】自分の考えや意見を分かりやすく伝える 【合言葉】思ったことを伝え合う教室に



「反省」＝「振り返り」ではない。次への行動にスポットを当てるのが「振り返り」

小中合同挨拶運動…見えたのは挨拶する姿だけではない

6月8日(月)～9日(火)

の2日間で、小中合同挨拶運動を行いました。1日目は、加治市長にも参加していただきました。挨拶運動は、各中学校でも生徒会が中心となって行なっていますが、本校は初めと終わりにきちんと全員が顔を揃えて、「目標設定」と「振り返り」を行なっているのが、とてもいいと思いました。そして、小学生もその輪の中にちゃんと入っているのが、自然と挨拶運動の目的や効果を学んでいくことができると思いました。そんな中、1日目の振り返りで「挨拶の声が小さかった」「挨拶に元気がなかった」だから「挨拶が返ってこなかったことがあった」という反省が出ていました。これは私も気になっていたのですが、子どもたちも気づいていて、意見として出ていました。その後、「明日は、もっと挨拶が返ってくるように私たちが大きな声で挨拶しましょう」と翌日の目標を設定して解散しました。そして、翌日、始める前に昨日の振り返りの内容と今日の目標を全員で確認し、自分の持ち場へと別れて行きました。私は子どもたちがどうするのかを黙って見ていましたが、一人一人が前日より大きな声を出して、挨拶を行なっていました。そして、実際に前日より挨拶がよく返ってきていました。あいにく雨が降ってきたので、途中で切り上げたのですが、前日の振り返りを生かして修正していました。子ども達の姿から見えたのは、以下の点です。

- ① 1日目に実行した振り返りから、問題点を見出し、その原因を明らかにしていた。
- ② 原因を特定するだけでなく、解決するための「次への行動」を設定していた。
- ③ 解決するために決めた行動を実践し、1日目の問題点をクリアすることができていた。

そして、特にいいなと思ったのが、次の2点です。

◇ 問題点の原因を相手の行動ではなく、自分たちの行動の中に見出していた。

◇ 相手を変えようとするのではなく、自分たちが変わる必要性に気づいていた。

子どもたちの主体的に取り組む姿と成長を見ることのできた2日間でした。

今年の第1回小中合同学園運営協議会が開催されました

6月12日(金)に今年度の1回目の小中学園運営協議会が中学校で開催されました。この会は、学校だけではなく区長さんを初めとして小中のPTA役員さんなど、地域のさまざまな立場の方を含め総勢20名で組織する、地域の中で学校をより良くするためにどうしたらいいかということを考える会です。年に4回開催されますが、今回は「学校の経営方針」と「学校と地域との連携」について意見を交換しました。中でも委員の一人である福岡教育大学の教授(小中一貫校の立ち上げから関わっていただいています)からは、立石校区の1番の宝(基盤)は「人の絆」であるという言葉をいただきました。何代先になっても大切にしていきたい財産です。



3年生にとっては最後の中体連大会…生徒はみんな頑張りました。

6月20日(土)～22日(月)

の3日間で、中体連ブロック大会が開催されました。この大会は、中学校の部活動において子どもたちが最大の目標としている大会です。みんな、精一杯、立石中学校の名前を背負っ

て頑張ってくれました。試合ですので、必ず「勝った」「負けた」があります。相手がいることですから、どれだけ自分が努力したと思っていても、必ず勝てるというわけではありません。一方で「勝ったからいい」「負けたからだめ」というわけでもありません。勝っても課題があるかも知れませんが、負けても成果があるかも知れませんが、大事なことは、しっかり大会までの過程と大会当日の結果に向き合って、振り返ることだと思います。そして、振り返ったことを次へと繋げることのできる精神的な逞しさやパワーがあるかということではないでしょうか？この大会を目指し積み重ねたものや振り返って得た気づきは、一旦競技に区切りをつける人も、先の大会に進む人も、もう一回り大きく成長できるチャンスをもたらしてくれるものだと思います。これからの皆さんの毎日に期待しています。大会の結果は以下の通りです。

部活動名	大会の結果
●ブロック大会	
野球	3 位
ソフトボール	準優勝 →地区大会 7 月 1 1 日（土）
女子卓球	惜敗
男子卓球	3 位
女子バレーボール	惜敗
水泳（ ）	1 0 0 m 自由形…優勝 5 0 m 自由形…優勝 →地区大会 7 月 8 日（水）
●筑後地区大会	
陸上（ ）	1 年 1 5 0 0 m…準優勝 →県大会 7 月 2 7 日（月）



「面白そう」が「大嫌い」を越える！・・・本人の中の新たな気づきかも知れない？

やっぱり「好奇心」や「～したい」で人は動くと思われ改められました。ある日の今から朝の会が始まろうとする時のことです。夏休みに行われる英語スピーチ大会に参加する生徒が、スピーチの原稿をまず日本語で作っていました。担任の先生が、「この子、いい文章が書けているので見てください。」と教えてくれたので、読ませてもらいました。本人の正直な気持ちが素直な表現で書かれており、とても微笑ましく、また共感できる素敵な内容でした。（ネタバレになるので申し訳ないのですが・・・）内容は「大会への参加を誘ってくれた友だちへの感謝」と「自分は勉強が大嫌い」というものでした。そして、朝の会が始まったので、教室の後方で朝の会の様子を見ていたのですが、だんだん、疑問が湧いてきました。そして、我慢ができなくなり、朝の会が終わった後、改めてその子に質問しました。「友だちが誘ってくれたから出ようと思ったという事は分かる。でも、英語スピーチって、日本語を一旦、英語に訳すという作業が入るよね。これって、あなたの大嫌いな勉強じゃない？それなのに、なんでやろうと思ったの？」その子は、「確かに・・・。」って考えた後に、こう答えてくれました。「面白そうだから！」私は「ハッ」としました。「大嫌いなこと」でも「やりたい」と思う瞬間があるんだ！という事に改めて気づかせてもらいました。「やりたい」は人を動かすとても大きなエネルギーになります。自分の中の「たい」をみんなでたくさん育ていきたいと思っています。